上々稍二

分枝シ

葉

ハ剛質鮮緑色ニシテ裏面ニ疎毛アリ横濱植物會會員久內清孝君屢同

山ニ行

キラ

採 ŀ

集 雖

シ予モ

ス

F.

Æ

稈 亦

ノ おお ヲ 産 ス 形 狀 彷 彿 み や て ざ さ 並 ニ い ぶ き ざ お (一 名 つ ぽ ね ざ さ) ニ 類

模國箱根ノ山中一種

新 種 とくがはざさ

牧 野 富 太 鄓

予頃日本品ヲ研究シテ之ヲささ屬中ノ一新種ト考定セリ而シテ今兹ニ謹ンデ之ヲ侯虧徳川賴倫閣下ニ捧ゲ以之ト前後シテ之ヲ同處ニ採集セリ同山中ニハ處々ニ之ヲ生ズト雖ドモ此レ以外ニハ尚ホ未ダ其産地ヲ得ズ 竹二就テ深邃ナル趣味ヲ有セラルヽ 其學名ヲ Sasa Tokugawana Makino. セラレ本竹ノ産地箱根モ亦其採集區域ノ圏内ニ属スルヲ以テ本品ヲ斯 ŀ スル所ナリ而シテ其正式ノ記載文ハ之ヲ本誌ノ歐文欄內ニ揭出 ノミナラズ其相州大磯ナル同侯別邸内ニハ其近傍數里内 (sp. nov.) ト新定シ其和名ヲとくがはざさト創稱 セリ ノ如ク命名スル ハ如上ノ關係上予ノ最 セ y 侯爵閣 ノ草木ヲ蒐集栽植 F ハ 特別

實竹(じっちく)ト稱

まだけノ鞭根(ねむち)即チ地下莖ノ横走シテ偶マ斷崖ニ出ヅル

= ŀ アル ナリト想へリ然ドモ是レ實ハまだけタルニ外ナラズ

竹

富 太 郞

牧

野

スルモノアリ陸前松島ナル福浦島ノ名産ナリ又其他ニ出ヅ而シテ世 人ハ之ヲー 種特別 グ竹

や其尖端始メハ下ニ向フテ伸長 ス ŀ

ふらすこも

۴ 二出デ易シ頻ニ實竹ノ生ズル所以ナリ由是觀之崖上ニ竹林ヲ有スル者ハ容易ニ實竹ヲ作ルヲ得ベシ而シラ曾ラ ク(若シ之レアルモ極メラ小ナリ)此ニ所謂實竹ヲ成スヲ見ル彼ノ福浦島ハ小島ナリ島上ノ鞭根ハ走テ崖端氣中 ト普通ノ竹稈ト敢ラ異ナルコトナシ此ノ如ク地下莖ノ末端生長シテ稈ヲナスモノ多クハ其基部稈内ニ心孔 モ須叟ニシテ**更ニ上方ニ向フテ彎曲シ次デ直上シ**籜ヲ脱シテ逐 一稈ヲナ スニ 至り上二枝椏ヲ分チ葉ヲ著 ナ

〇ふらすもハ須ラクふらずこもト改ムベシ

此事實ヲ發見セルハ田中芳男先生是レナリ

牧 野 富 太 郞

し*ぢくも科(Characeae)ニ屬スル植物ニ今日普通ニ植物學者ガふらすもト稱呼シ或ハ書籍中ニ記スルモノ ニシテ蔵 蹴精器ヲ 卵器丼= (1) ハ小枝 チ Flask ニシテ長頸ノ硝子壜ヲ云ヒ而シテもハ藻ナリふらすこ リ予ハ徳川末葉時代ノ學者が明カニ之ヲふらすてもト記セル證 義甚ダ解スベカラズ宜ベナリ是レ當サニふらすこもトセザルベ リ即チニテラ屬(Nitella)ノー種ナリ而シテ此ふらすもノ名ノ意 もハ Flasco 藻即チ是ナリ ノ品種莖上ノ藏卵器ガ上圖ニ示セル如ク所謂「**フ**ラスコ」狀ヲ 左ヲ有セリ蓋シニテラ屬(し*ぢくも屬即チ Chara モ亦同ジク) カラザルモノヲ誤リテふらすもト不完全ニ呼ビ來リシヲ以テナ セルニ基キテ命名セルナリ「フラスコ」ハ洋語ノ Flasco 即

藏卵器 著ク(2)ハ

ふらすもへ須ラクふらすこもト攺ムペシ